

今日のトピック 最近の指標から見るブラジル経済 (2016年3月)

物価上昇率が低下、消費者信頼感が改善

ポイント1 消費の低迷が継続 消費者信頼感は改善

- 1月の小売売上高は前年同月比▲10.3%と、前月の同▲7.2%からマイナス幅が拡大しました。一方、消費者信頼感指数は1月に続き2月も上昇しました。
- ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、景気への配慮から政策金利の引き上げを昨年7月で打ち止めにしています。消費者心理の改善が景気を持ち直しにつながるかが注目される局面です。

ポイント2 物価上昇率が低下 市場の一部に利下げ期待

- 3月前半の消費者物価上昇率は前年同月比+9.95%と、昨年10月以来の1桁になりました。物価高がピークアウトしたとの観測などから、市場では利下げ期待がやや高まりました。
- ただし、直近の物価上昇率低下は、天候に左右されやすい野菜など食品価格の落ち着きによるところが大きく、利下げのきっかけになりにくいとの指摘が見られます。中銀の次回会合（4月26日～27日の予定）までに発表される3月全体、4月前半の物価指標が市場の注目を集めそうです。

今後の展開 政治的不透明感が続く

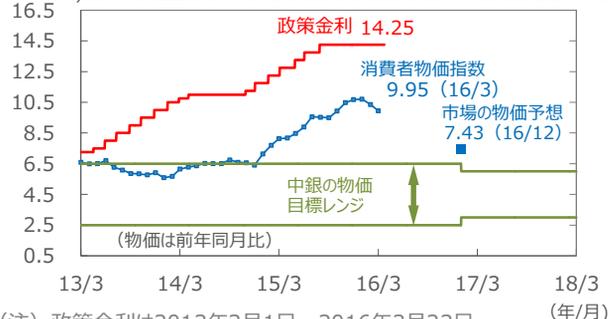
- 中国の景気不安や資源価格の下落が一服し、ブラジルレアルは足元で持ち直しつつあります。一方、景気低迷や汚職問題への不満などから大規模な反政府デモが発生し、議会ではルセフ大統領の弾劾手続きが始まりました。政治的不透明感から、レアルは当面振れの大きい展開となりそうです。

(%)【小売売上高と消費者信頼感指数】(ポイント)



(注) 小売売上高は2013年2月～2016年1月。消費者信頼感指数は2013年2月～2016年2月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(%)【政策金利、消費者物価指数、物価目標】



(注) 政策金利は2013年3月1日～2016年3月23日。消費者物価指数は2013年3月～2016年3月。2016年3月の消費者物価指数は月前半。市場の物価予想は、中銀が3月21日に発表した市場予想。中銀の物価目標は年+4.5%。レンジは、2016年末まで±2%、2017年以降±1.5%。
(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(円/レアル) 【ブラジルレアル】 (レアル/米ドル)



(注) データは2015年3月1日～2016年3月23日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2016年3月23日 最近の指標から見る中国経済 (2016年3月) 2016年3月3日 ブラジルの金融政策 (2016年3月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。